

## GLOBAL WATCH



Global Special Report

グローバル・スペシャル・レポート

2007年8月17日

## 世界株式市場の動きについて

8月16日、アジア、欧州株式相場は下落しました。信用力の低い個人向け住宅融資(サブプライムローン)の状況悪化や流動性低下懸念などを受けてアジア株式相場が急落、欧州株式相場も続落しました。米国株式相場は前日比でほぼ横ばいでした。今回の動きについてご報告いたします。

## 主要株式指数の騰落率

騰落率(現地通貨ベース)	2007/8/15~8/16	年初来
米国:S&P500種指数	0.32%	0.50%
欧州:MSCI欧州株価指数	3.50%	0.50%
アジア(除く日本):MSCI ACファーストフリー(除く日本)	4.92%	10.07%
日本:東証株価指数(TOPIX)(配当込)	1.67%	6.16%
中国:香港H株指数	5.23%	9.88%
インド:ムンバイSENSEX30指数	4.28%	4.14%

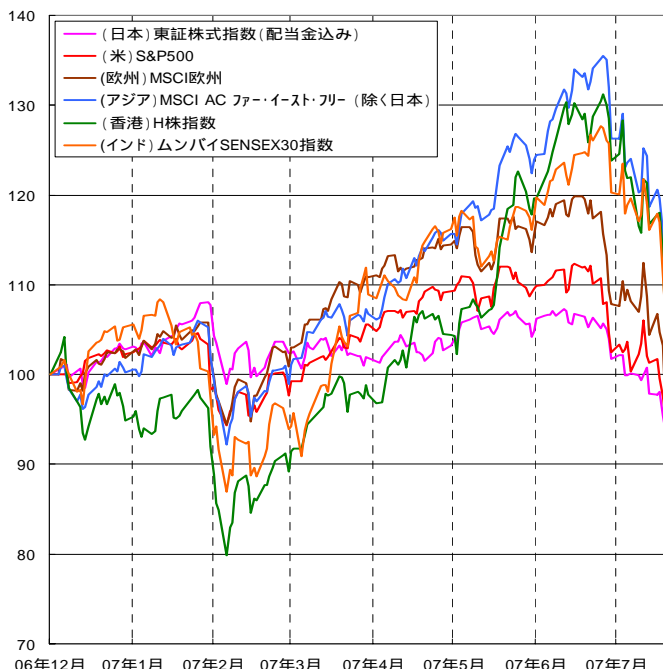
注:Bloombergよりフィデリティ投信作成 期間:2006年12月末-2007年8月16日  
15日にムンバイ証券取引所は休場だったため、対14日の騰落率。

## 主要通貨の騰落率(対円レート)

通貨	2007/8/15~8/16	2007年年初来
米ドル	2.58%	4.14%
ユーロ	3.07%	2.57%
中国人民元	2.81%	1.60%
インド・ルピー	4.02%	2.57%
シンガポール・ドル	2.73%	4.10%

注:RIMESよりフィデリティ投信作成 期間:2006年12月末-2007年8月16日

## 主要株式指数の推移(円ベース)



注:株価はBloomberg, 通貨はRimesよりフィデリティ投信作成  
期間:2006年12月末-2007年8月16日 2006年12月末を100として指数化、円ベース、  
MSCIはGrossインデックスを使用

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨を目的としたものではありません。また当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。またデータは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。 1070816-4

## 株式市場動向

8月16日のアジア株式相場は、サブプライムローン関連の新たな損失や流動性の低下を懸念してMSCI AC ファーストフリー(除く日本)指数で4.92%と下落、投資家の売り圧力は欧州市場へひろがりました。米国市場は一旦下落した後、米利下げ観測が高まり、反発しました。

## 通貨の動き

8月16日、円は主要通貨に対して上昇しました。ドル・円為替レートは2.58%のドル安円高、ユーロ・円為替レートは3.07%のユーロ安円高、となりました。

## 株価下落の背景

今回のアジア株式相場の下落には、次の要因が考えられます。

- サブプライムローンに関連した流動性懸念の広がり

8月15日に米国の大手住宅ローン会社の倒産リスクに関する懸念が台頭、また16日には、オーストラリアの住宅ローン会社が約50億米ドルの債務借り換えが不能になったと発表したことから、アジア株式市場全体に売り圧力が高まりました。

- 投資家心理の悪化

アジア株式は、MSCI AC ファーストフリー(除く日本)指数で年初来から7月25日まで+29.00%と上昇、高値警戒感が広がっていたため、信用リスクの高まりや流動性の低下などの悪材料に対して、投資家心理が敏感に反応しやすい環境であったことも下落の要因のひとつと考えられます。

## 今後の動向

アジア経済は、2007年の予想GDPで年率+8.8%\*1と、堅調です。またアジア企業の業績も1年先業績で+27.1%\*2と増益が見込まれています。

グローバルな投資家の売り圧力やリスク回避志向の高まり、サブプライムローンに関連した個別企業の損失の拡大など、今後も市場の動向について見極める必要があります。

しかし株式市場を取り巻く経済環境は引き続き良好であると思われれます。また金融当局も豊富な流動性を市場に供給するなど適切な対応を見せています。調整局面こそ長期的な成長の見込める市場への投資機会であると考えます。

(文中の騰落率は特にことわりのない限り現地通貨ベースです。)

\*1 予想データはIMFより取得 地域はDeveloping Asiaを使用。

\*2 予想データはRIMESより取得 MSCI AC ファーストフリー(除く日本)指数の構成銘柄の1年先業績 2007年7月末時点

データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。